

# 組合そくほう

全大教ホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp/>  
信州大学教職員組合  
URL <http://www7a.biglobe.ne.jp/~akarenga/>

信州大学教職員組合事務局  
直通電話: 0263-33-0933(FAX 兼用)  
内線 : 811-2341  
akarenga@kbf.biglobe.ne.jp  
通算 830 号 2016 年 9 月 7 日発行

## 全大教定期大会の報告と討論のポイント

第 49 回全大教定期大会が去る 7 月 9 日～10 日、東京・大崎の南部労政会館で開催された。大会には 100 単組(1 大学複数単組を含め加盟 106 単組)の内、大学・大学共同利用機関 77 単組中 61 単組の代議員 61 名、及び高専協議会(構成 23 単組)代表の代議員 2 名、合計 63 名の代議員が出席した。

まず全大教中央執行委員長より挨拶があり、今日の軍事大国化を目指す流れの形成とそのもとの教育機関への動員に関する問題、グローバル企業の奉仕に向けた高等教育の人材育成のあり方について言及され、護憲、平和を守ることの重要性和科学の発展を支える大学の使命について述べられた。また来賓として日本私立大学教職員組合連合、全日本教職員組合、日本新聞労働組合連合からも挨拶があった。

引き続き中央執行委員会より議案説明があり、その後討論がおこなわれた。まず全大教の財政問題について、2015 年度の一般会計の赤字に対していかに立て直すべきか議論がおこなわれた。執行部からは、全大教への未加盟組合、その他研究所等への勧誘を積極的に進めること、また全国の組合員にはトップの研究者も多く、これらの知的人材を活かした書籍出版による収入も検討中であるとの発言があった。

大学・高等教育充実の取り組みについては、文科省出身理事の主導でガバナンス『改革』が急進展し、組合が方針を討議するために必要な情報の入手にも苦慮する状況が単組から報告され、文科省の意向を忖度した学部・大学院改組は、大学の自治や国立大学法人の自律的運営を否定するものであり、構造的な問題と捉え全国的な取組をすべきとの発言、また日の丸・君が代問題では、文科省や当局の動きが速くなっていることから、迅速かつ豊富な情報を単組に提供すべき、などの発言があった。

組織の拡大・強化の取り組みでは、組合は組合費を払えば何かサービスを与えるものではなく、自分の立場・職場環境を良くしていく、そのために組合を利用するという考え方が重要、それと同時に組合があることによるメリットを知らせる工夫が必要であること、未組合員をフリーライダーとみることで、逆に遠ざけないよう注意すべきであり、フリーライダー論に走るのではなく組合の魅力を打ち出すことが大切であるという発言が数単組から相次いだ。また過半数代表と違う労働組合固有の権利をアピールすることが求められており、さらに組合役員の負担から加入を躊躇する教職員への工夫、組合員の中にある様々な分野の専門家を発掘し、その知見を運動に活用すべき等の意見が出された。

また改正労働契約法についての問題点についてもいくつか指摘された。ある大学では非常勤職員に無期転換権を与えないよう、当局側が内規などを定め該当者に個別に雇用期限を告知するとか、これまでの 6 年更新を 5 年に短縮する等の脱法的な動きがあり、教育現場が混乱している等の発言があった。これに対して専門家による学習会などを検討すべき等の意見も出された。

給与臨時減額裁判闘争の取り組みについて、原告単組から裁判闘争への全国的支援に謝辞が述べられるとともに、裁判を闘っている評価と意義が説明され、場内から拍手が湧き上がった。

参加して感じたことは、文科省の指導の強化と大学執行部の文科への追従がますます進みつつあり、そうした中で高等教育現場に強制と混乱が蔓延している現状にあることが浮き彫りになった。多くの大学の教職員は予算の減額と多忙化で苦しんでおり、それをいかに乗り越え、職場環境の改善や正当な給与を克ち取るか、その際に組合が当局と公式の交渉権を有しており、それをいかに有効に活用すべきか、また分断されつつある職場の人間関係を縦横に繋ぎ、職場内に内在する諸問題を解決できる組織であること、組織でならねばならないことを改めて痛感した大会であった。

(文責：植木)

## 「全大教による熊本地震被害への救援募金」の実施

### 組合員各位

熊本市地震の発生から早くも四ヶ月が経ちました。局地的とは言え、甚大な被害が出ているのはメディアでご承知のことと思います。また唯一行方不明であった大学生が漸く発見されるなど、被害に遭われた方々の心は徐々にではありますが、癒やされつつあると思います。

そうした中で七月六日付けで全国大学高専教職員組合書記長名で被災した単組・組合員の支援を行うべく、単組に対する調査、聞き取りを行ってきました。その結果、そうした被害を救援するための救援金の募金活動を行うこととしました。

この要請を受けて中央執行委員でのメール審議の結果、各支部から一口1万円のご協力をいただくことで合意いたしました。本部からも親族などの被害調査が来ている状況ですが、組合として全国の組織が団結して支援していく機会ともなります。本来であれば組合員各位にご相談の上で募金活動を行うところではありますが、本組合の地理的状況などから、支部毎で取りまとめた支援という形式となりました。

このような形であれ、全国の教職員組合が協力体制を取ること重要な活動の一環と言えます。事後報告となりますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(文責：西)

## 第28回全大教教職員研究集会 9月9日～11日開催！！

9月9日（金）～11日（日）に、宇都宮大学・峰キャンパスにて、全大教教職員研究集会が開催されます。全体テーマは「深刻化・固定化する日本の階層格差～国公立大学教職員はどう向き合えばよいのか」記念講演は橋本健二先生（早稲田大学人間科学学術院教授）『新しい階級社会の出現と高等教育の課題』です。信州大学教職員組合からも2名の教職員が参加する予定です。

**〈長野ろうきん〉のキャッシュカードは  
ATMお引出し手数料**

**手数料 0円**

全国の〈ろうきん〉、セブン銀行などのコンビニ、ゆうちょ銀行、  
その他の金融機関のATMでお引出しいただけます。  
※設置場所・時間帯によってはご利用いただけない場合があります。

その場で**全額**  
**キャッシュバック**  
コンビニATMでも使えます  
[手数料は実質0円]フルキャッシュバック

はたらく人の想いと生きる  
長野ろうきん

BANK 7 JP AEON mic

長野ろうきん 検索